

(様式第 7 号)

## 地域の課題解決のための活動報告

記入日：平成 30 年 6 月 28 日

作成者：加藤純子

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

＊この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

|                                                                                                                                                                                                                                                          |                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 団体名                                                                                                                                                                                                                                                      |                                            |
| I LOVE ASHIYA                                                                                                                                                                                                                                            |                                            |
| 事業名                                                                                                                                                                                                                                                      | 日時 (期間), 場所                                |
| 東日本大震災追悼「宮沢賢治の作品にふれる心の支援コンサート」                                                                                                                                                                                                                           | 平成 30 年 3 月 11 日 (日) 15 時～<br>芦屋市立美術博物館ホール |
| 内容 (実績) ＊実施したことを具体的に                                                                                                                                                                                                                                     | 受益者数                                       |
| 7 月 22 日 福祉フェアにて「手作り支援カレー」販売。コンサートの資金を作る。担当人数：9 人<br>参加者：約 228 人 (カレーの販売数からの推測)                                                                                                                                                                          | ( 10 ) 人                                   |
| 1 月 31 日 プログラム内容の打ち合わせ                                                                                                                                                                                                                                   | 参加者数                                       |
| 2 月 10 日 プログラム内容を演奏者と確認。<br>コンサートまでのスケジュール打ち合わせ                                                                                                                                                                                                          |                                            |
| 2 月 19 日 チラシ作成、印刷所に発注                                                                                                                                                                                                                                    | ( 122 ) 人                                  |
| 3 月 6 日 台本と曲目の確認                                                                                                                                                                                                                                         |                                            |
| 3 月 8 日 プログラム印刷                                                                                                                                                                                                                                          |                                            |
| 3 月 9 日 ピアノ調律                                                                                                                                                                                                                                            |                                            |
| 3 月 10 日 会場、音響準備                                                                                                                                                                                                                                         |                                            |
| 3 月 11 日 午前中 リハーサル<br>午後 15 時よりコンサート開始<br>担当者：10 人 参加者：122 人                                                                                                                                                                                             |                                            |
| 成果 (社会へのインパクト) ＊どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に                                                                                                                                                                                                                 |                                            |
| <p>忘れがちな東北、阪神淡路大震災の記憶を、歌やイベントを通して思い出すことで、長くとどめ、人々のつながりと優しい思いやりの心を分かち合える場を提供出来たと思える。今回でこのイベントは 6 回を迎えたが半数以上はリピーターであり、企画する側に続けてほしいとの激励の言葉を頂いている。</p> <p>また、今回は例年より予想以上の参加者がありプログラムが足りず増刷するなど反響が大きかった。東北からのお便りは記念に持ち帰りたいとの要望があるなど、多くの方に活動に対する理解と応援を頂いた。</p> |                                            |
| 今後の展望 (どのように継続、発展するか)                                                                                                                                                                                                                                    |                                            |
| <p>今回の宮沢賢治の作品「風の又三郎」は 1 時間弱の話としてまとめるのにかなりの時間がかかり、子供向けの要約された本も色々あって台本作りにかなり苦労があった、予算的な問題もありスタッフの打ち合わせ時間にも制限があった。今後もう少し時間</p>                                                                                                                              |                                            |

をかけて年配の方から子ども達まで、だれの心にも残るようなメッセージを込め、内容を濃いものにしたいと考える。

今回は東北の方のお手紙の紹介だけだったが、芦屋の方のコメントも出していきたい。イベントを通して個人の方同士の交流やその報告、また、直接、東北の方をお招きしてお話を聞くなど、さらに交流の場を広げて行きたい。このイベントも打ち上げ花火ではなく、長く続けていくことを目標にしたい。